

自己評価公表シート

学校法人 上宮学園

令和8年3月6日

1. 学校の教育目標

1. ごあいさつが出来、すなおにありがとうが言える子ども。(感謝) 2. きまりを守り、ないものを分けあえる仲のよい子ども。(和合) 3. 自分で考えて活動し、喜んで最後までがんばる子ども。(精神)

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) 園生活が園児の主体的な活動となるように、一人一人の長所や興味関心をとらえ、言葉にならない声に耳を傾け、環境の構成や言葉掛けを行う。 (2) 各教員が今年度の研究領域の理解を深め、読書等、資質向上を計るため、尊敬と信頼に基づいた教員間の人間関係をつくるように努力する。
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

- | | |
|----------------------|---------------|
| A…十分達成されている | B…達成されている |
| C…取り組まれているが、成果が十分でない | D…取り組みが不十分である |

(単位…%)

評価項目	評価内容	A	B	C	D	総合評価
保育の計画性	①園の建学の精神や教育理念を理解している。	30	70	0	0	B
	②幼児の発達や生活を見通して、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をしている。	0	95	5	0	
幼児への対応	③健康や事故に配慮し、適切な環境構成や言葉掛けを行っている。	30	70	0	0	B
	④幼児の話を良く聞き、言葉にならない声に耳を傾ける。	55	45	0	0	
	⑤一人ひとりの幼児が今興味や関心を持っていることがわかる。	35	65	0	0	
	⑥幼児一人一人のよさを認めるようにしている。	70	30	0	0	

評価項目	評価内容	A	B	C	D	総合評価
教師としての良識	⑦今年度の研究領域の勉強をしている。	15	70	15	0	B
	⑧職務上知りえた、保護者・幼児の情報を口外していない。	100	0	0	0	
	⑨教員間の温かい人間関係を作るように努力している。	65	25	10	0	
	⑩芸術鑑賞や読書など資質を高める努力をしている。	15	60	25	0	
	⑪『子育てのしおり』を繰り返し読んでいる	10	60	30	0	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の研究領域の勉強は、良い評価がないという点、反省を生かしてもらいたい。 ・守秘義務に関しては、良い評価となっている。 ・芸術鑑賞や読書など資質を高める努力が低い。 ・毎年、Cをつけるのは反省がないということになる。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教師としての良識について	保育者として備わっているべき能力、素質、性質などを内面から向上させるために、自ら芸術鑑賞（美術館巡り）や読書、園長著『子育てのしおり』の活用をすることで、幼児を見る目や教師としての資質向上にさらに努力してもらいたい。
教員間の温かい人間関係を作るように努力している	目上の者が後輩に対して具体的に手本を示し、手厚く指導していく必要がある中で、後輩の思いも汲み取り、相手の意見も取り入れたチーム保育を心がける。又、目上の者は後輩に対して話しやすい雰囲気づくりに努める。
評価方法	自分自身に厳しい評価をする人や、逆に甘い評価をする人がおり、ばらつきが目立った。正しく評価できるよう、今一度、それぞれの良識において改善すべきである。

6. 総合評価

- 昨年の反省を踏まえた改善は見られるものの、より高い向上心をもって保育に取り組むことが課題である。全体としてはB判定である一方、Cがつく項目については反省が十分に行動や成果に結びついていない面がうかがえるため、評価向上につながる実践を一層積み重ねていくことを期待したい。
- 一人一人が教育方針を理解し、あらゆる場面で自園の教育の良さを生かして保育する。
- 他の職員の良さを認め、又、それらを自身の保育に取り入れ、お互いに切磋琢磨しながら、保育の質を高めていくことが求められる。